

# 北納だより

温故  
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北納学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

最終号 令和8年3月23日発行

文責 校長 武藤 健

令和7年度重点目標「目標達成に向かって粘り強く取り組む子供の育成」

## 「わくわく」と「きらきら」の一年間 ～本年度の子供たちの成長を見つめて～

本年度も残すところわずかとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には、この一年間、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

本校では「目標達成に向かって粘り強く取り組む子供の育成」を本年度の重点目標として教育活動を進めてまいりました。

その中で大切にしてきた合言葉が、「わくわく」と「きらきら」です。子供たちが「やってみよう」「できるようになりたい」とわくわくした気持ちで挑戦し、その努力の積み重ねによって、一人一人のよさや可能性がきらきらと輝く。そのような学校を目指して一年間取り組んできました。学習の場面では、すぐに答えが出ない課題にもあきらめず取り組む姿が見られました。行事や様々な活動の中では、仲間と励まし合いながら最後までやり抜こうとする姿も多く見られました。難しいことに出会ったときでも、「もう少しやってみよう」「次はこうしてみよう」と考えながら取り組む子供たちの姿からは、目標に向かって粘り強く挑戦する力の育ちを感じています。そして、その挑戦の中で見せる子供たちの表情は、まさに「わくわく」と「きらきら」に満ちたものでした。

こうした子供たちの成長の背景には、日頃から学校を支え、励ましてくださる保護者の皆様の存在があります。家庭での温かい声かけや見守りによって、子供たちの挑戦する勇気や粘り強さを育ててくださっていることを、日々の学校生活の中で強く感じております。改めて深く感謝申し上げます。

一年間の積み重ねの中で、子供たちは確実に成長しました。その一步一步の努力が、次の学年、そして未来へとつながっていきます。

本校の校訓に「温故創新」という言葉があります。これまで大切にしてきたことを土台としながら、新しいことに挑戦し、未来を切り拓いていくという意味です。今年一年、子供たちは「わくわく」する気持ちで挑戦し、その努力の積み重ねによって一人ひとりが「きらきら」と輝く成長を見せてくれました。その姿は、まさに本校の校訓である「温故創新」を体現するものであったと感じています。子供たち一人ひとりの「わくわく」が挑戦を生み、その挑戦の積み重ねが「きらきら」と輝く成長につながっていきます。これからも子供たちが自分の可能性を信じ、夢や目標に向かって歩み続けてくれることを心から願っています。

来年度も、子供たち一人ひとりが主体的に学び、仲間とともに成長していく学校づくりを進めてまいります。引き続き、本校の教育活動への温かいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。一年間、本当にありがとうございました。



運動会 (R7 5/18)



学習発表会 (R7 11/7)

## 後輩たちへ襷(たすき)をつなぐ ～第9回 卒業証書授与式(3/13)～

3月13日(金)に、本校の第9回卒業証書授与式を挙行し、9年生18名が立派な姿で上陽北浜学園を巣立っていきました。

当日は在校生代表として8年生が式に参列し、厳かな雰囲気の中にも温かい気持ちに包まれた素晴らしい卒業式となりました。

9年生は、本校が義務教育学校として歩み始めてからの歴史をつくってきた学年の一つです。日々の学習はもちろん、学校行事や児童生徒会活動、部活動など、さまざまな場面で学校を引っ張り、下級生のよい手本となってくれました。

式の中で見せてくれた凛とした姿、仲間と心を合わせた歌声からは、9年間の成長と仲間との絆が強く感じられました。

今回、式に参加したのは8年生だけでしたが、1年生から7年生の皆さんも、日頃から9年生の姿を見て多くのことを学んできたはずです。上陽北浜学園は、1年生から9年生までが共に学び、成長していく学校です。先輩から受け取った襷(たすき)を、今度は皆さんが次の学年へとつないでいてほしいと思います。

9年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんがこれから歩む新しい道が、希望に満ちたものとなることを心から願っています。

そして在校生の皆さん。次は、一つ進級した皆さんが、この上陽北浜学園の新たな歴史をつくっていく番です。期待しています!!



## 自他の命を守る学び ～交通安全教室(3/4)を通して～

3月4日(水)に、本校では、全学年を対象に交通安全教室を実施しました。初等科では、運動場に実際の道路を想定したラインを引き、ハ女警察署の方のご指導のもと、自転車の安全な乗り方や横断歩道の正しい渡り方を体験的に学びました。子供たちは一つひとつの動きを確認しながら、「止まる・見る・待つ」といった基本の大切さを実感していました。一方、中・高等科では、自転車利用に関する映像を視聴し、交通事故の現実や、自転車が加害者となる可能性について学びました。日常的に利用する自転車であっても、一歩間違えれば重大な事故につながることを改めて認識する機会となりました。

交通安全は、「**自分の命を守る**」だけでなく、「**相手の命も守る**」行動です。本校では、発達段階に応じた指導を通して、安全に対する意識と判断力の育成に取り組んでいます。

4月からは新入生を迎え、新たな生活がスタートします。登下校や日常生活の中での安全確保について、学校として引き続き指導を徹底するとともに、子供たち一人ひとりが自ら考え、行動できる力を育ててまいります。

ご家庭におかれましても、交通ルールやマナーについて話題にしていただけ、学校と家庭が連携しながら、子供たちのかけがえのない命を守る体制を共に築いていければ幸いです。

